

## 英語科目の履修について

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この資料では、基盤教育の英語科目とその履修方法について説明します。

### <英語科目の種類について>

基盤教育の英語科目には、接続領域の「英語」と、教養領域の「英語 B 」、「英語 B 」、そして「応用英語」があります。

「英語」は卒業に必要な科目（要卒科目）、必修科目で、1年次生が履修するように設定されています。水曜7時限と金曜6時限に開講されます。同じ科目名ですが、担当者は別々で、内容も異なります。

第1セメスター（1年次前期）に2クラス、第2セメスター（1年次後期）に2クラス、計4クラスを履修することで、卒業に必要な4単位を取得することができます。

「英語 B 」、「英語 B 」は、昼間の時間帯にのみ開講される科目で、2年次生が履修するように設定されています。要卒科目ですが、選択制になっていて、同じ「外国語科目」区分の中の5種類から選択していずれかの単位を取得すれば、要卒単位になります。

行政政策学類用の「英語 B 」、「英語 B 」は、水曜1時限（英語 B ）と金曜2時限（英語 B ）に開講されます。履修を希望する場合は、定められた期間内に教務課の基盤教育係の窓口で申し込みをする必要があります。

「応用英語」は、「英語 B 」と同じ教養領域「外国語科目」区分の科目で、昼間の時間帯にのみ開講されます。学類による時間枠の限定はなく、また1年次から履修することができますが、「英語」「英語 B 」とは異なるレベル、目標、内容、技能などが設定されているので、履修の際には注意してください。

### <英語科目の履修方法について>

「英語」は水曜7時限と金曜6時限に1クラスずつ開講されます。第1セメスター、第二セメスターともに、履修登録期間内に、忘れずに登録を行ってください。

「英語 B 」、「英語 B 」は、第3セメスター（2年次前期）から履修することができます。履修を希望する人は、**教務課の基盤教育係の窓口で申し込み**をし、夜間主用の履修カードを受け取り、初回の授業で行われるガイダンスの際に、担当教員に提出してください。窓口での受付期間は、3月中旬～下旬（前期陽）と9月中旬（後期用）です。

「応用英語」は第1セメスターから履修することが可能な科目です。先にも書いたように、レベル、目標、内容など、「英語」とは異なる設定となっています。（レベルは、昼開講の「上級クラス」をイメージしてもらえればと思います。）シラバスをよく読ん

で、履修が可能かどうか熟考してから選択してください。

冊子版『学修案内』の pp.24-26 に英語の履修についての説明があります。そちらもよく読んでおいてください。

### <シラバスについて>

履修する科目を選択する際に、一番の手掛かりとなるのはシラバスなのですが、今学期については、遠隔で授業を行うことが決定される以前に作成されたものであるため、その点を踏まえて参考にしてもらえればと思います。

「英語」も、他の科目と同様に、遠隔授業となったことで、シラバスに記載されたものとは異なる方法で行われることになります。遠隔授業の形に合わせた授業方法などの詳しい説明は、各クラスの初回の授業で行われることになっています。

### <その他のお知らせ>

英語科目の履修に関すること以外で、新入生ガイダンスで例年説明している内容を、簡単にご紹介します。

#### (1) 英語特修プログラムについて

冊子版『学修案内』の pp.37 38 に掲載されています。学類独自のプログラムです。英語関連の科目での積極的な学修に関心のある人は、参照してみてください。

また、全学のプログラムとして「グローバル特修プログラム」も用意されています。異文化理解やグローバルな教養を身につけることを目的とした「グローバル教養プログラム」と、英語力を強化し、より実践的な海外留学・インターンシップの支援のための「英語グレードアッププログラム」の2種類があります。関心のある人は、学修案内(web)の「グローバル特修プログラムの履修について」を参照してみてください。

#### (2) 資格試験・海外語学研修等について

在学中に受けた英語に関する資格試験(技能試験)が、自由選択科目の単位として認定される場合があります。詳しくは、学修案内(web)の「2019年度入学生からの英語に係る技術審査の単位認定に関する要項」を参照してください。

また、在学中に参加した英語の短期語学研修も、自由選択科目の単位として認定される場合があります。これについては、学修案内(web)の「英語の語学研修に係る学修の単位認定に関する要項」を参照してください。